

国際機関連携無償資金協力「国家動員解除・社会復帰プログラム（UNDP 連携）」の交換公文署名式

2023年6月3日（月）、アディスアベバ市内の財務省において柴田大使は、ド－UNDP エチオピア事務所長とともに、「国家動員解除・社会復帰プログラム（UNDP 連携）」に係る交換公文の署名式に参加しました。同式典にはエチオピア政府を代表し、セメリタ国务大臣及びテスファレム国家復興委員会（NRC）副委員長が立ち合いました。

本計画は、日本国政府から UNDP を通じて NRC に対し、約 10 億円（約 700 万米ドル）を資金供与し、NRC が実施する元兵士の動員解除及び社会復帰事業を支援するものです。17,000 人の元兵士が、現在生活しているキャンプから従軍する前に生活していた社会に戻る「動員解除」や、NRC 職員が本事業を運営するための能力強化を支援します。加えて元兵士を受け入れるホストコミュニティの方々も平等に社会サービスを楽しむことができるようにすべく、保健施設や行政施設の修繕も実施し、行政サービスの強化も図ります。

本支援の実施を通じ、元兵士及び受け入れ側のコミュニティに暮らす方々が紛争前の生活を少しでも早く取り戻して平和な生活を享受し、地域及び国内の治安の安定が促進することが期待されます。

本式典において柴田大使は「本支援の実施により元兵士の動員解除が速やかに開始されることを期待します。日本政府は、エチオピア政府及び国民の主体性と責任によって、エチオピアの平和と繁栄が実現するための協力を行います。」と述べました。



署名式前にセメリタ財務国务大臣と談笑する柴田大使



柴田大使とド－UNDP エチオピア事務所長との文書交換



財務省、NRC、UNDP エチオピア事務所による合意書締結



本事業関係者の集合写真

